

保護者のみなさまへ

1歳半頃の子育てのヒント



このリーフレットは、道内の1歳半頃のお子さんをもつすべての保護者を応援するための資料です。

1歳半頃になると、「運動」や「言葉」、「理解」が発達してきます。

子どもは、1歳半頃になると、「遊び」を通してできることが増えてきます。この頃は、保護者が一緒に遊ぶなどして、お子さんに温かくかかわっていくことが大切です。

また、子育てについて、地域の保健師や相談員、お近くの子育て経験のある方に、気軽に相談することによって、お子さんとのかかわり方にゆとりがもてるようになることがあります。

1歳半頃の子どもの発達と子どもへのかかわり方（例）

項目	1歳半頃にできること	子どもへのかかわり方
運動	「ぐるぐる書き」ができる。 	保護者がやって見せながら、ブロック積みや、おもちゃをつまんだり、引っ張ったりするような手指を動かす遊びを一緒に行う。
言葉	絵本を見て物の名前を言おうとする。	子どもが物を指さしたときや、何かを伝えようとしているときに、「そうね、〇〇だね。」などと意識して言葉を添えて返す。
理解	目や耳、口など、身体部分の名称が2つ以上分かる。	例えば、歯磨きをするときに「口をあーんと開けてね。」など、この時期のお子さんに伝わる言葉を使いながら伝え、言葉のイメージを広げる。

※発達には個人差があります。

1歳半頃のお子さんをもつ、お母さんの声

「相談してよかった！」

- 「運動面で、ほかの子どもより発達が遅れているかな。」と不安に感じていたので、子どもと保護者を対象とした子育てサークルに参加したときに、ためらわず保健師に相談してみました。すると、保健師から、体を使った遊びや、子どもへのかかわり方のコツをたくさん教えてもらいました。
- 「どうして、この子は私と目を合わせないのかな。」と不安に思っていた頃、1歳半健診のときに、思いきって保健師に相談したところ、「人とかかわるのが苦手なのかもしれないね。お母さんのせいじゃないよ。」と言われ、ほっとしました。

保健師や相談員への相談内容をメモしておく、後で思い出したり、他の方に相談したりするときに便利です。



道教委ホームページ

（お問合わせ先）

北海道教育庁学校教育局特別支援教育課
〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館
電話 011-204-5774 FAX 011-232-1049
<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/tkk/index.htm>



個別の教育支援計画紹介ページ

※この資料は、1歳半健診等で保護者に配布することができる1枚資料です。